

保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

電子レンジ	品番 YMW-ST17J1
★お客様お名前 様	
★ご住所 〒	★電話番号 () -
保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体…………… 1年間	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
- 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
- 本書の提示がない場合。
- 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 消耗部品の交換 } 等
仕様変更
- 保証期間内でも商品が修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、18ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダホールディングス

【ヤマダオリジナル商品サポートセンター】 TEL 0120-258-260 (無料)

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号
受付時間：午前10時～午後7時（元日のみ休日）

取扱説明書

電子レンジ

品番 YMW-ST17J1

一般家庭用
(業務用としては使用しないでください)

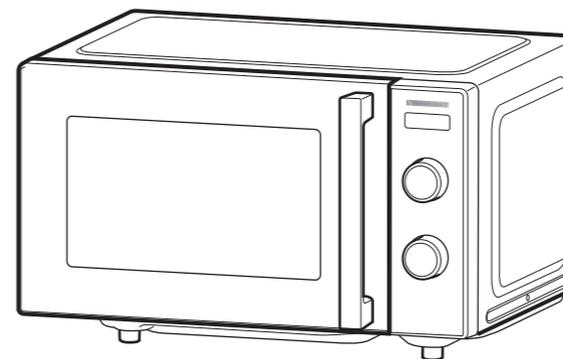
保証書付 (裏表紙)

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。特に1~4ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



Yselect



もくじ

ページ

- 安全上のご注意 …………… 1~4
- 設置について …………… 5
- 使える容器・使えない容器 …………… 6
- 各部のなまえ …………… 7~8
- 加熱のしくみ …………… 9
- 準備する …………… 9
- 知っておいていただきたいこと …… 10
- 使いかた …………… 11~12
 - あたためる ●解凍する
- 調理時間の目安について …… 13
- 上手に使うポイント …………… 14
- お手入れ …………… 15
- 故障かな?と思ったら …… 16
- 仕様 …………… 17
- 点検 …………… 17
- 修理サービスについて …… 18
- 保証書 …………… 裏表紙

取扱説明書(保証書付)・本体には商品の色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、3つに区分しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

 禁止 ○は、してはいけない「禁止」の内容です。	 一般的な禁止	 分解禁止	 接触禁止
 強制 ●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	
	 必ず行う	 電源プラグを抜く	
	 アース線を接続する		

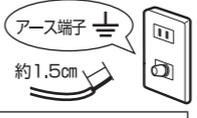
危険

 吸気口・排気口・穴などにピンや針金など、異物を入れない 感電や異常動作をしてけがをするおそれがあります。	 絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。
--	---

警告

 異常・故障時には、ただちに使用を中止する 使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。 ＜異常・故障例＞ ●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ●異常なおいや音がする。 ●ドアに著しいガタや変形がある。 ●触れると電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。 ※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」に点検、修理を依頼してください。	 お子さまのいたずらに注意する 倒れたり、上にのったりして、けが・感電・やけど・故障のおそれがあります。
 煙が出たり、異常なおいがしたり、異音が出る場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて、修理を依頼する	 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く 感電・ショート・発火・火災の原因となります。

警告

 アースを確実に取り付ける 確実に取り付けられていないと、万一故障や漏電をしたときに感電するおそれがあります。 [アースの取り付け方] アース線の先端の被覆を約1.5cmむき、アース付コンセントのアース端子にしっかりと接続します。 ※コンセントにアース端子がない場合はお買上げの販売店にアース工事(有料)をご相談ください。 	 油脂の多い食品・液体*1、粒入りスープ*2を加熱するときは突沸に注意する 加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があります、やけどの原因となります。 *1…バター・生クリーム・オリーブ油など *2…コーンの粒やあさりなどが入ったスープ・小豆の粒が入ったおしるこなど
 湿気の多いところ(地下室など)や洗剤の近くなど水のかかりやすいところに設置する場合は、必ずアース線に加え「漏電しゃ断器」をつけてください。	 加熱前、加熱後は必ずスプーンでかき混ぜる 加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があります、やけどの原因となります。
 次のところへはアース線を接続しないでください。 ガス管・水道管・避雷針・電線のアース線	 殻や膜などのある食品(トマト・イカ・栗・銀杏など)は、切れ目や割れ目を入れてから加熱する そのまま加熱すると、破裂して、やけど・けがの原因となります。
 缶詰・ビン詰・レトルト袋などの食品は別の容器に移してから加熱する。また、鮮度保持剤(脱酸素剤)を入れたまま加熱しない 発火や破裂して、やけど・けがの原因となります。	 卵はそのまま加熱しないでよく割りほぐしてから加熱する 破裂して、やけど・けがの原因となります。
 容器を使用するときは、広口で背の低い容器を使用し、8分目まで入れる 少量の加熱は、沸騰による飛び散りの原因となります。	 電源は、交流100V・定格15Aのコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。
 加熱するときは、設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する 食品の分量に対して加熱時間が長いと、発煙・発火・やけどの原因となります。 特に、少量の加熱時や油脂の多い食品・液体、さつまいもなどの根菜類の加熱にはご注意ください。	 電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。
 食品を加熱しすぎない 加熱しすぎると、食品が炭化し、発煙・発火に至る場合があります。万一発煙・発火した場合は次のことを行ってください。 ●すぐに電源プラグを抜く ●ドアを開けずに鎮火するのを待つ ●鎮火しない場合は消化器で消火する 処理後はそのまま使用せず、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。	 電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない 電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。 感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。
 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電・ショート・けがのおそれがあります。	 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く 感電・ショート・発火・火災の原因となります。

⚠ 警告	
<p>❌ 子供や不慣れなただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない やけど・感電・けがの原因となります。</p>	<p>❌ ドアが破損したり、ドアのロックに異常がある場合は使用しない 電波が漏れて、人体に障害を与えるおそれがあります。</p>
<p>❌ ゆで卵の加熱はしない 破裂して、やけど・けがの原因となります。</p>	<p>❌ 電源コードや電源プラグが傷ついたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。すぐにお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。修理技術者以外の方が、修理をしないでください。</p>
<p>❌ 延長コードを使用しない 火災・やけどの原因となります。</p>	<p>❌ 飲み物を加熱しすぎない 加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があります。やけどの原因となります。加熱しすぎたときは、そのまま1～2分ほど庫内で冷ましてから取り出してください。</p>
<p>❌ 調理以外の目的で使用しない 発熱や異常動作をして発火・火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 湯たんぽの加熱 おしぼりの加熱・乾燥 哺乳瓶の消毒 衣類の乾燥 庫内を収納庫として使用 など 	<p>❌ 燃えやすいもののそばに置いたり、熱に弱いものやカーテンなどの近くで使用しない 火災のおそれがあります。</p>
<p>❌ 本体の上に水や、その他の液体の入ったものを置かない 水分がこぼれて、感電・故障の原因となります。</p>	<p>❌ 業務用として使用しない 本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。</p>
<p>❌ ぬれた手で電源プラグを抜きさししない ショート・感電・けがの原因となります。 ぬれ手禁止</p>	<p>❌ 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない 感電・ショート・発火・故障の原因となります。 水ぬれ禁止</p>

⚠ 注意	
<p>❗ 本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜き本体が冷えてから行う 感電・やけどのおそれがあります。</p>	<p>❗ お弁当をあたためるときは、ふたやラップを外し、ゆで卵・アルミケース・調味料類は取り出す 火花が出たり、破裂によるけが・やけどをするおそれがあります。</p>
<p>❗ 本体を移動するときは必ず電源プラグを抜き、アース線を外して移動する けが・故障の原因となります。</p>	<p>❗ 壁との間を空けて置く 過熱して発火するおそれがあります。</p>
<p>❗ 使用後はお手入れをする 雑菌が繁殖したり、発火・故障の原因となります。</p>	<p>❗ 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く けがや絶縁劣化による感電・ショート・火災の原因となります。 電源プラグを抜く</p>

⚠ 注意	
<p>❗ 水平で丈夫な場所に置く 不安定な場所に置くと振動・騒音・落下の原因となります。</p>	<p>❗ 熱気や蒸気が出るものから離す 機能が低下し、故障の原因となります。</p>
<p>❌ 鮮度保持剤(乾燥材や脱酸素剤)を加熱しない 食品に付着していないか確認してから加熱してください。火花が出たり、発煙・発火・破裂・火災の原因となります。</p>	<p>❌ 庫内やドアに付着した調理物や油を放置したまま加熱しない 発煙・発火の原因となります。必ず庫内が冷えてから拭きとってください。</p>
<p>❌ ドアにもものを挟んだまま使用しない 電波漏れによる障害が起きることがあります。</p>	<p>❌ 水のかかるところや、火気の近くでは使用しない 感電・漏電の原因となります。</p>
<p>❌ 壁や家具の近くで使用しない 熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因となります。</p>	<p>❌ 本体の上にもものを置かない 過熱して焦げたり、変形するおそれがあります。</p>
<p>❌ 工場や厨房など多量の粉じんや油脂の発生するところに設置しない 火災・故障の原因となります。</p>	<p>❌ ドアに無理な力や衝撃を加えない 本体の転倒、落下によるけがや、変形して電波漏れや故障の原因となります。</p>
<p>❌ 屋外や車の中で使用しない 本製品は屋内専用です。熱による変形・変色・感電・故障の原因となります。</p>	<p>❌ テレビ・ラジオ・パソコンなど電子機器の近くで使わない 雑音や通信速度の低下などが発生するおそれがあります。</p>
<p>❌ 直射日光の当たる場所など高温になる場所に置かない 熱による変形・変色の原因となります。</p>	<p>❌ 加熱中や、加熱後しばらくは内部・ドアなどの高温部に触れない やけどの原因となります。調理品を取り出すときはミトンなどをご使用ください。食品のラップを外すときは熱い蒸気などにご注意ください。 接触禁止</p>
<p>❌ ガソリン・シンナー・ベンジン・アルカリ性洗剤・灯油・ベンゾール・アルコール・みがき粉などで拭かない。また、殺虫剤などをかけない 樹脂や塗装部分が、変色・変質する原因となります。</p>	

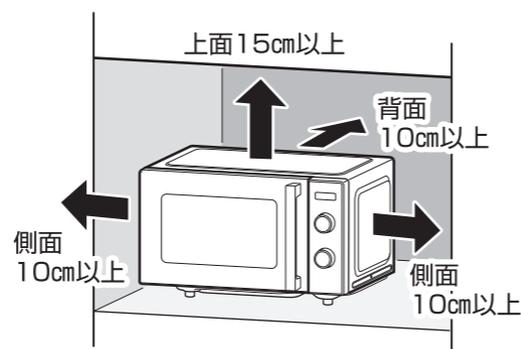
お願い	
<p>乳児のミルクなどのあたためは仕上がり温度を確認する 中身をかき混ぜて温度を均一にしてから、仕上がり温度を確認してください。 やけどのおそれがあります。</p>	<p>庫内が汚れたまま加熱しない 発火・発煙のおそれがあります。</p>
<p>レンジ加熱を行う前に容器の材質などを確認する 金属容器・アルミホイル・非耐熱のガラスなどを使用すると火花が出て発火・発煙したり、ガラスが破損することがあります。</p>	<p>加熱中は庫内を時々確認する</p>
<p>加熱終了後、ファンが回っているときは、電源プラグを抜かない 加熱を終了しても、本体が高温になっているときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。</p>	<p>途中で加熱を中止するときは、ドアを開閉する 加熱中にドアを開けると加熱時間が「0:00」になり、加熱を停止します。 ※再度ドアを閉めても加熱は再開されません。</p>

設置について

置き場所のご注意

！ ご使用になる場所の安全を確認する

- 本体上面は15cm以上、左右側面と背面は10cm以上すき間を空けてください。また、前面は何もない状態にしてください。
- 水平で丈夫な床の上に置いてください。
- 燃えやすいものの近くに置かないでください。
- カーテンの開閉や揺らぎにご注意ください。
- 本体の上に腰掛けたり、ものをのせないでください。
- 上方からの落下物のおそれのないところでご使用ください。

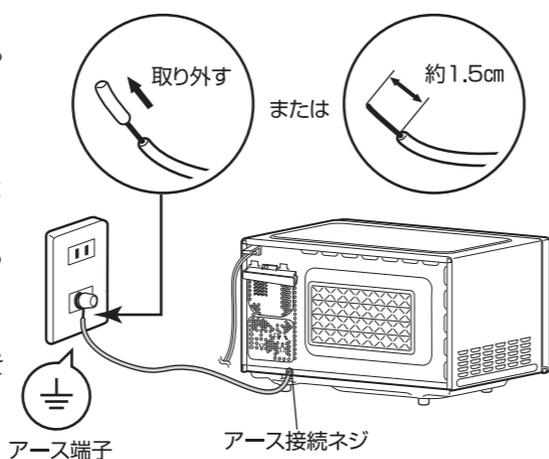


アース線を取り付ける

アースを確実に取り付ける

アース線を接続する
アースが確実に取り付けられていないと故障や漏電のときに、感電の原因となります。

- コンセントにアース端子がある場合
 - ①アース線先端の被覆を外します。または線の先端の被覆を約1.5cmむきます。
 - ②アース付きコンセントのアース端子にしっかり接続します。
- コンセントにアース端子がない場合
お買上げの販売店にアース工事（有料）をご相談ください。



警告

ガス管・水道管・避雷針・電線のアース線には絶対に接続しないでください。

使える容器・使えない容器

本製品で使用できる容器と使用できない容器があります。ご使用前に下の表をご確認の上、正しくお使いください。

【使える容器】

使える	容器の種類	説明
○	耐熱ガラス 	容器本体または取扱説明書に記載されている表示をご確認ください。 ※急加熱・急冷すると割れることがあります。 ※強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示のないものは使えません。
○	耐熱プラスチック 	耐熱性140℃以上のもの、電子レンジ使用可能の表示のあるもの。 ※油脂の多い食材などは使えません。 ※ふたは耐熱性でないものもありますので表示にご注意ください。 通常は本体の底面に表示があります。
○	陶器・磁器 	※急加熱・急冷すると割れることがあります。 ※金や銀など、金属を使った装飾のあるものは火花が飛び、容器を傷めることがありますので使えません。
○	クッキングシート 	※庫内側面に接触させると焦げることがあります。

【使えない容器】

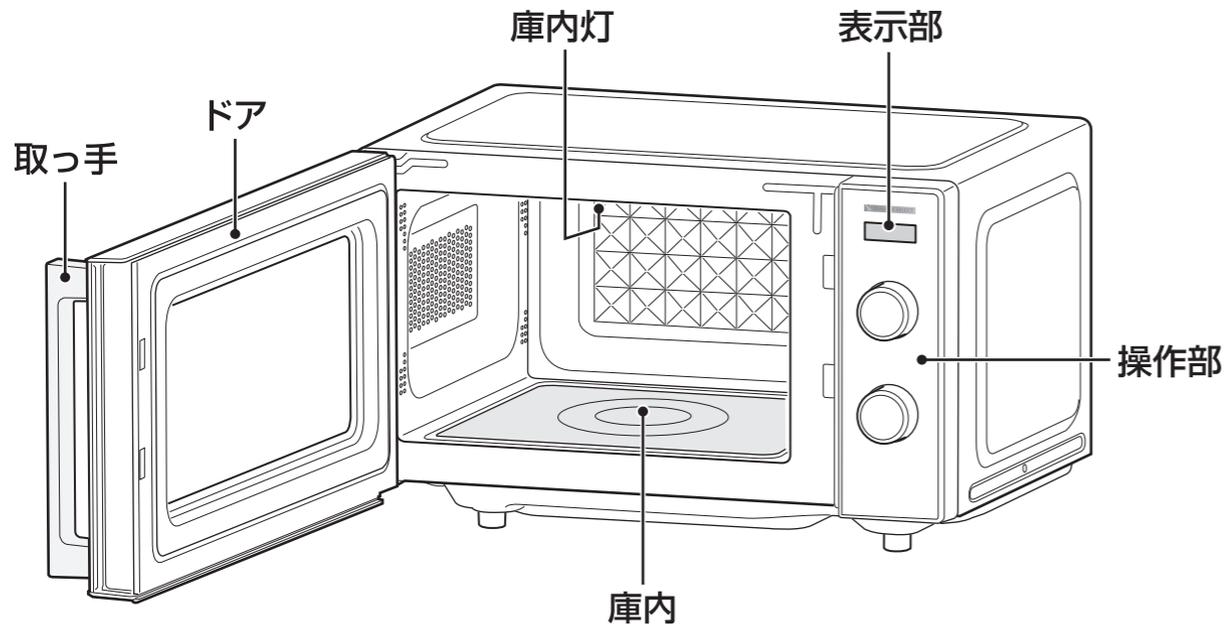
使えない	容器の種類	説明
×	一般ガラス 強化ガラス (耐熱でない) 	※耐熱表示のないガラスは使えません。 ※強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示のないものは使えません。
×	プラスチック (耐熱でない) 	※容器の耐熱表示をご確認ください。
×	金属の絵付けをされた 陶器・磁器 	※金や銀など、金属を使った装飾のあるものは火花が飛び、容器を傷めることがありますので使えません。
×	漆器・竹・紙 木製品 	※塗りがはがれたり、燃えたりすることがあります。
×	金属 	※アルミホイル・ホーロー・金属カップなどは使えません。 ※缶詰や、レトルト容器（材料にアルミ箔などを使用した容器）は別の容器などに移して加熱してください。 レトルト容器によっては電子レンジで調理できる場合があります。容器の表示に従って調理してください。

各部のなまえ

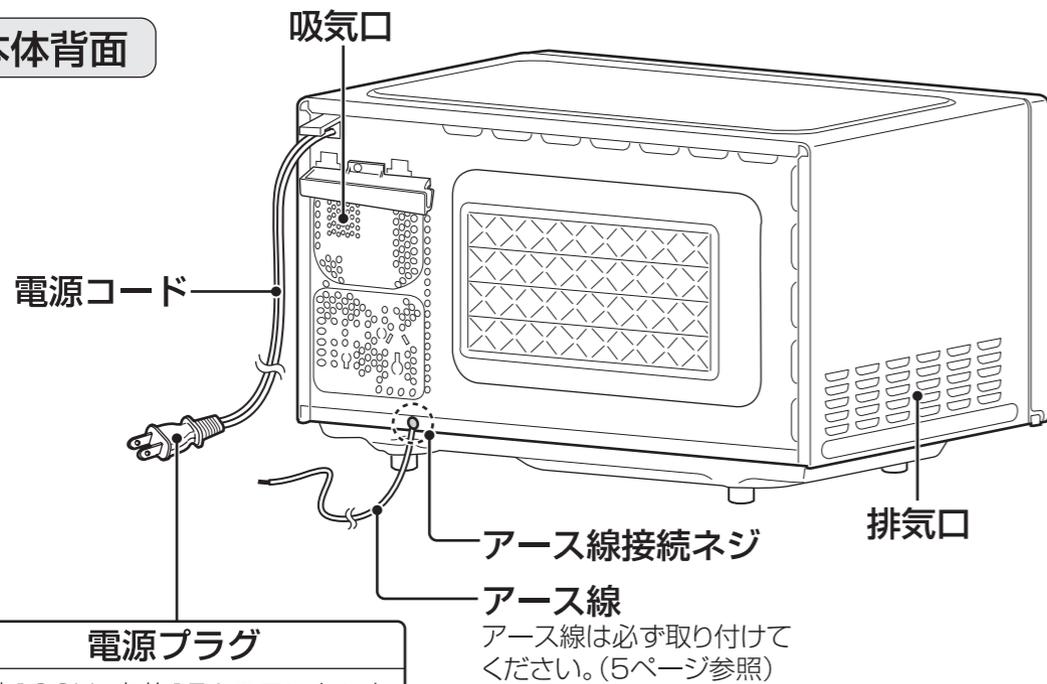
※電源プラグをさし込む前に、
梱包材をすべて取り除いてください。

本体前面

*本製品は、ドアを開けると電源が入ります。



本体背面



電源プラグ

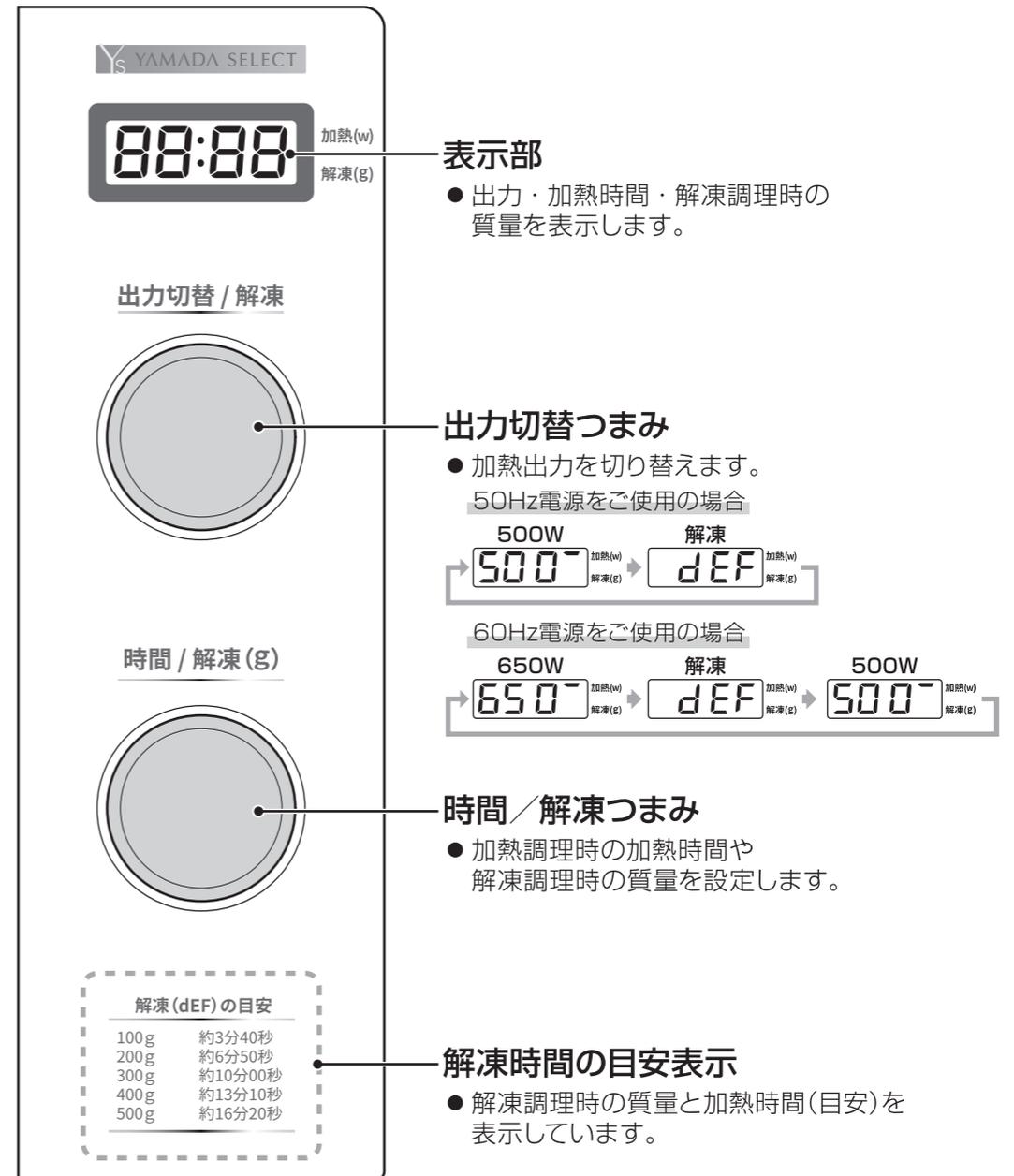
交流100V・定格15Aのコンセントを単独でご使用ください。本体のお手入れを行うとき、長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

アース線接続ネジ

アース線
アース線は必ず取り付けてください。(5ページ参照)

操作部

※説明のためすべて表示しています。



表示部

●出力・加熱時間・解凍調理時の質量を表示します。

出力切替つまみ

●加熱出力を切り替えます。

50Hz電源をご使用の場合



60Hz電源をご使用の場合



時間／解凍つまみ

●加熱調理時の加熱時間や解凍調理時の質量を設定します。

解凍時間の目安表示

●解凍調理時の質量と加熱時間(目安)を表示しています。

解凍 (dEF) の目安

100 g	約3分40秒
200 g	約6分50秒
300 g	約10分00秒
400 g	約13分10秒
500 g	約16分20秒

加熱のしくみ

電波（高周波）で食品を内と外から同時に加熱します。

- 電波（高周波）が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子に摩擦運動が起きます。この摩擦運動による熱で、食品は内と外から加熱されます。

電波の特性



水分のある食品は、吸収されます。



耐熱性のあるガラス容器、陶器などは、透過します。



金属製の器などは、反射します。

警告

加熱するときは、設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する

食品の分量に対して加熱時間が長いと、発火・発煙・やけどの原因となります。特に、少量の加熱時や油脂の多い食品・液体、さつまいもなどの根菜類の加熱にはご注意ください。

<加熱しすぎた場合の事例>

- ごはん類・ドライフルーツ・ミックスベジタブルなど
→白煙があがり、炭化します。
- 食品トレイのお弁当・お惣菜
→食品トレイが変形したり溶けたりします。
- 耐熱プラスチック
→ふたをした状態で加熱を行うと、ふたが変形します。

油脂の多い食品・液体*1、粒入りスープ*2を加熱するときは突沸に注意する

加熱後、取り出したあとに、突然沸騰（突沸）して飛び散る場合があります、やけどの原因となります。

- *1… バター・生クリーム・オリーブ油など
- *2… コーンの粒やあさりなどが入ったスープ・小豆の粒が入ったおしるこなど

必ずお守りください

- 小さく切ったものや少量で加熱すると、火花が出て焦げたり、乾燥することがあります。様子を見ながら加熱してください。
- 繊維質の多い食材を加熱するときは、発煙・発火することがありますのでご注意ください。
- 万一食品が発煙・発火した場合は、すぐに電源プラグを抜き、ドアを開けずに鎮火するのを待ってください。ドアを開けると空気が流れ込み炎が大きくなります。鎮火しない場合は消化器で鎮火を行ってください。また、ガラス窓に水をかけないでください。ガラスが割れることがあります。

準備する

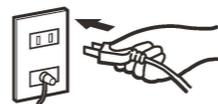
- 1 5ページの「置き場所のご注意」に従って、本体を設置する
- 2 5ページの「アース線を取り付ける」に従ってアースを接続する
 - アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに、感電の原因となります。

警告

ガス管・水道管・避雷針・電線のアース線には絶対に接続しないでください。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

- ※電源プラグをコンセントにさし込んで表示部には何も表示されません。



アース線は安全のため必ず配線してください。

知っておいていただきたいこと

電源を入れるには

- 電源プラグをコンセントにさし込み、ドアを開閉すると表示部に“0:00”と表示され、電源が入ります。
- 表示部に“0:00”が表示されてから5分経過すると、表示部が消灯し、自動で電源が切れます。（省エネ設計）
※再度電源を入れるにはドアを一度開閉してください。
※電源が切れている状態でドアを開けると「ピー」と起動音が鳴ります。

加熱出力について

- 50Hz電源をご使用の場合：「500W」／「解凍（200W）」の2種類の出力があります。
60Hz電源をご使用の場合：「650W」／「500W」／「解凍（200W）」の3種類の出力があります
※調理の内容に合わせて出力切替つまみを切り替えてください。
→詳しい操作方法は「使いかた（11～12ページ）」をご参照ください。

加熱時間・質量設定について

- 一回の加熱で設定できる最長加熱時間は合計15分までです。
※加熱時間は加熱中でも設定できます。
- 「解凍（200W）」で解凍できる質量は「最小100g～最大500g」です。

加熱の開始・停止について

- 本製品は、以下の条件で加熱を開始します。
 - ・ドアを閉め、加熱時間・質量を設定する。
 - ・加熱時間・質量を設定後、ドアを閉める。約2秒後に自動で加熱を開始します。
- 加熱中に運転を停止するときはドアを開けてください。残りの加熱時間が解除され、“0:00”を表示します。
※再度ドアを閉めても加熱は再開されません。
- 加熱中に時間／解凍つまみを回し、加熱時間を“0:00”に設定すると加熱が停止します。
※解凍運転中は、時間／解凍つまみを回しても加熱時間の変更ができません。運転を停止するときはドアを開けてください。
- 本製品は、ドアを開けているときと加熱中に庫内灯が点灯します。
※ドアを閉めると庫内灯が消灯します。

お願い

- 本製品は、加熱時間または質量を設定したあと、ドアを閉めると自動で加熱運転を開始します。以下の項目などにご注意ください。
 - ・ドアを開けた状態で加熱時間・質量を設定し放置しない
 - ・時間／解凍つまみに触れ、誤って回したとき
- ※誤って加熱運転が開始されたら、ドアを開閉して運転が確実に停止したことをご確認ください。

調理が終了したとき

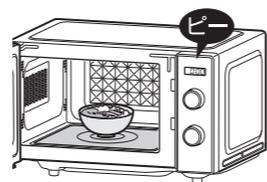
- 加熱が終了すると終了音が鳴り、表示部に“End”と表示されます。
※加熱終了後、“End”と表示されている状態ではつまみの操作ができません。追加加熱をするときは、一度ドアを開閉して“0:00”を表示させてください。
- やけどに注意して食品を取り出してください
- 加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を保護するため一定時間冷却ファンが動作する場合があります。

使いかた

あたためる

1 ドアを開け、食品を庫内に入れる

- ドアを開けると表示部に「0:00」と表示されます。
 - 食品を容器に入れて庫内中央に置き、ドアを閉めてください。
- ※容器については、「使える容器・使えない容器(6ページ)」をご参照ください。



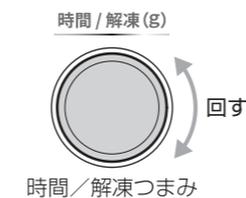
2 出力切替つまみを回して加熱出力を合わせる

- 表示が以下のように切り替わります。
- ※解凍調理「dEF」については、「解凍する(12ページ)」をご参照ください。



3 時間／解凍つまみを回し、加熱時間を設定する

- 加熱時間は、10秒～15分の範囲で設定できます。
- ＜加熱時間の設定単位＞
10秒～5分…10秒刻み 5分～10分…30秒刻み 10分～15分…1分刻み
- ▶加熱時間を設定すると、約2秒後に自動で加熱を開始します。
- 加熱中は庫内灯が点灯し、残り時間をカウントダウン表示します。



加熱時間を変更する場合

時間／解凍つまみを回して調節してください。
※一回の加熱で設定できる最長加熱時間は、合計15分までです。

加熱を途中で中止する場合

ドアを開けるか、時間／解凍つまみを回して「0:00」に設定してください。
※再度ドアを閉めても加熱は再開されません。



4 できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消灯します。
 - 表示部に「End」と表示されます。
 - ドアを開け、食品を取り出してください。
 - 加熱が足りないときは、様子を見ながら追加加熱してください。
- ※加熱終了後、「End」と表示されている状態ではつまみの操作ができません。追加加熱をするときは、一度ドアを開閉して「0:00」を表示させてください。
- ※加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を保護するため一定時間冷却ファンが動作する場合があります。

お知らせ

- 本製品は、以下の条件で加熱を開始します。
 - ・ドアを閉め、加熱時間・質量を設定する
 - ・加熱時間・質量を設定後、ドアを閉める
 約2秒後に自動で加熱を開始します。
- ドアを開け、食品を庫内に入れたあと、時間／解凍つまみを回して加熱時間を設定することもできます。その場合、50Hz電源をご使用の場合は「500W」、60Hz電源をご使用の場合は「650W」で加熱します。

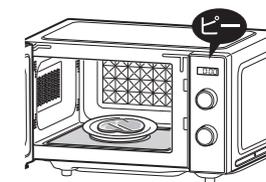
注意

- 加熱中や、加熱後しばらくは内部・ドアなどの高温部に触れないでください。やけどの原因となります。
- 食品を取り出すときはミトンなどをご使用ください。
- 食品のラップを外すときは熱い蒸気などにご注意ください。

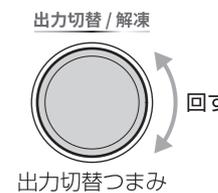
解凍する

1 ドアを開け、食品を庫内に入れる

- ドアを開けると表示部に「0:00」と表示されます。
 - 食品の大きさ・厚さをそろえて冷凍しておくとうまく解凍できます。
 - 食品を庫内中央に置き、ドアを閉めてください。
- ※容器については、「使える容器・使えない容器(6ページ)」をご参照ください。



2 出力切替つまみを回して「dEF」に合わせる



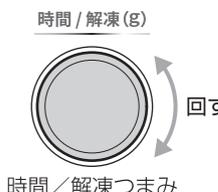
3 時間／解凍つまみを回し、質量を設定する

- 一度に解凍できる質量を「最小100g～最大500g」の範囲で100g単位で設定できます。
- ▶質量を設定すると、約2秒後に自動で加熱を開始します。
- 加熱を開始すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
 - 加熱中は庫内灯が点灯します。

加熱を途中で中止する場合

加熱中に運転を停止するときはドアを開けてください。
※再度ドアを閉めても加熱は再開されません。
※解凍運転中は、時間／解凍つまみを回しても加熱時間の変更ができません。運転を停止するときはドアを開けてください。

解凍(dEF)の目安	
100g	約3分40秒
200g	約6分50秒
300g	約10分00秒
400g	約13分10秒
500g	約16分20秒



4 できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消灯します。
 - 表示部に「End」と表示されます。
 - ドアを開け、食品を取り出してください。
 - 加熱が足りないときは、様子を見ながら追加解凍してください。
- ※加熱終了後、「End」と表示されている状態ではつまみの操作ができません。追加加熱をするときは、一度ドアを開閉して「0:00」を表示させてください。



お知らせ

- 本製品は、以下の条件で加熱を開始します。
 - ・ドアを閉め、加熱時間・質量を設定する
 - ・加熱時間・質量を設定後、ドアを閉める
 約2秒後に自動で加熱を開始します。
- 食品の形状、解凍開始時の食品温度によっては部分的に煮えることがあります。
- 庫内が熱いときは、ドアを開け庫内が冷えてから解凍してください。
- 100g以下の食品は、煮えたり変色のおそれがあるため解凍しないでください。

調理時間の目安について

あたため時間を設定するときの目安を表示しています。
あたため前の食品の温度や種類によって適正な時間が変わります。様子を見ながら加熱してください。
※食品に加熱時間などの表示がある場合は、そちらを参照してください。

あたため ※出力は 500W を基準としています。

食品の種類	分量	加熱時間	ラップ・ふた	説明	
常温・冷蔵食品	ごはん	1杯(150g)	約1分30秒	—	ごはんがかたいときは、霧吹きなどで水を振りかける。
	煮物	200g	約2分	する	加熱後は混ぜる。
	味噌汁・スープ	1杯(200ml)	約2分	する	加熱後はかき混ぜる。
	カレー・シチュー	200g	約5分	する	深めの容器で加熱する。加熱後はかき混ぜる。
	焼きそば	1人分(200g)	約2分	—	乾いているときは、サラダ油を少し混ぜる。加熱後はかき混ぜる。
	ハンバーグ	2個(140g)	約2分	する	表面が乾いているときに、サラダ油を塗る。
	天ぷら・フライ	1人分(200g)	約2分	—	キッチンペーパーを敷き、重ならないように並べる。 ※イカは破裂することがあるので控えめに加熱
	焼きとり	6本(180g)	約1分30秒	—	先にタレを塗る。(照りを出す)
	牛乳	1杯(200ml)	約1分30秒	—	加熱後はかき混ぜる。
	コーヒー	1杯(180ml)	約1分30秒	—	加熱後はかき混ぜる。
お酒	1杯(180ml)	約1分	—	加熱後はかき混ぜる。	
冷凍食品	肉まん・あんまん	1個(75g)	約1分	する	水にぬらしたキッチンペーパーをのせ、1つつゆったりとラップをかける。 ※あんまんはあんが熱くなり、舌をやけどしたり、発煙のおそれがあるため、加熱時間を控えめにする。
	お弁当	1個(400g)	約3分	—	しょう油の容器・アルミ小容器・丸ごとのゆで卵などは取り出してから加熱する。 お弁当の種類、食材によって、あたため具合が異なります。
	ごはん	1杯(150g)	約3分	する	ラップにくるんだまま耐熱容器に入れて加熱する。
	チャーハン・ピラフ	1人分(250g)	約4分30秒	する	加熱後は混ぜる。
	カレー・シチュー	200g	約5分	する	深めの容器で加熱する。加熱後はかき混ぜる。
ゆで野菜	ハンバーグ	4個(140g)	約3分	※	※冷凍食品パッケージの説明を確認してください。
	おまんじゅう	1個(65g)	約1分	する	あんが熱くなり、舌をやけどしたり、発煙のおそれがあるため、加熱時間を控えめにする。
	シュウマイ	12個(170g)	約4分	※	※冷凍食品パッケージの説明を確認してください。
	だいこん	400g	約8分	する	大きさをそろえる。
	じゃがいも	200g	約5分	する	大きさをそろえる。
	にんじん	150g	約4分30秒	する	野菜が浸るぐらいの水を入れてふたをする。
	白菜・キャベツ	200g	約2分30秒	する	太い芯はあらかじめ除いておく。
	ほうれん草	200g	約3分	する	加熱後すぐに水にさらす。(あく抜きや色止めのため)
かぼちゃ	400g	約5~6分	する	大きさをそろえる。	
カリフラワー・ブロッコリー	200g	約2分30秒	する	あらかじめ食塩水につけてあく抜きをする。小房に分ける。	

必ずお守りください

- 加熱しすぎると、取り出すときに突然沸騰して飛び散ったり、やけどをすることがあります。そのまま1~2分ほど冷ましてから取り出してください。
 - 設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱してください。
- <加熱しすぎた場合の事例>**
- ・ごはん類・ドライフルーツ・ミックスベジタブルなど
→白煙があがり、炭化します。
 - ・食品トレイのお弁当・お惣菜
→食品トレイが変形したり、溶けたりします。
 - ・耐熱プラスチック
→ふたをした状態で加熱を行うと、ふたが変形します。

解凍 出力切替つまみを「DEF」に合わせます。食材の大きさ・厚さをそろえて冷凍しておくとうまく解凍できます。

上手に使うポイント

レンジを使うポイント

■ 上手に調理(加熱)するために…

- お弁当などは1個ずつあたためる
- 上下に積み重ねると上手にあたためられません。
- 容器は必ず確認する**
- 発泡スチロールや耐熱性のない容器は、あたためないでください。
- ゆでる煮るなどの調理は、食材の厚みや大きさをそろえる**
- 厚みや大きさをそろえることにより、加熱ムラを少なくすることができます。
 - 加熱後、庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らすと、よりムラなく仕上がります。
- 加熱の途中で、裏返しとかき混ぜる**
- 加熱ムラを少なくすることができます。
- 卵はそのまま加熱しない**
- 破裂して、やけど・けがの原因となります。
 - 卵を加熱するときは、よく割りほぐしてください。ゆで卵のあたためもしないでください。

野菜をゆでるときのポイント

■ 葉・果菜類

- 洗ったあとの水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせます。
- 葉菜類**
- 葉と茎を交互に重ねます。(太い茎には十字に包丁を入れてください)
 - アクのある野菜(ほうれん草・春菊・小松菜など)は、加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、その後冷水にとって色止めをします。
 - 量が多いとき(300g以上)は、半分に分けてラップに包んでください。
- 果菜類**
- 大きさをそろえて切ります。
 - アクのある野菜(なす・ブロッコリー・カリフラワーなど)は、加熱前に食塩水につけてアク抜きをします。
 - 色の濃い野菜(なす・ブロッコリー・さやいんげん・グリーンアスパラガスなど)は、加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、その後冷水にとって色止めをします。

※小さく切ったものや少量で加熱すると、火花が出て焦げたり乾燥することがあります。
※食品の出し入れやラップを取り外す際は、やけどに注意してください。

■ 上手に解凍するために…

- ラップやふた、飾りは外して解凍する**
- 発泡トレイのまま解凍できます。ラップなどに包んで冷凍した食品は、平らな皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。
- 解凍前に常温で放置しない**
- 冷凍庫から出してすぐに解凍することをお勧めします。食品から水(汁)が出るなどして風味や鮮度を損なう原因となります。
- アルミホイルを上手に利用する**
- 形や厚みが均一でない食品は薄いところや細かいところを、厚みのある食品は外周をアルミホイルで包むことにより、解凍ムラを防ぐことができます。
※アルミホイルは庫内側面やドアに当たらないように注意してください。
 - 通常の加熱調理にはアルミホイルを使わないでください。
※火花が出て故障の原因となります。
- 加熱調理を行ったあとは、庫内が十分に冷えてから解凍する**
- 加熱調理を行ったあとに解凍をするときは、ドアを開け十分に庫内が冷えてから解凍してください。
 - 食材の大きさ、厚さをそろえて冷凍しておくとうまく解凍できます。

■ 根菜類

- ラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせます。
- 丸のままゆでるとき**
- 洗って、皮付きのままラップに包みます。
 - 2個以上のときは、できるだけ大きさをそろえて重ならないように並べます。
 - 加熱の途中で一度上下を返します。
 - じゃがいも・さつまいも・さといもなどは、加熱後庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らします。
- 切ってゆでるとき**
- 皮をむき、大きさをそろえて切ります。

お手入れ

お手入れはこまめに行ってください

⚠ 警告

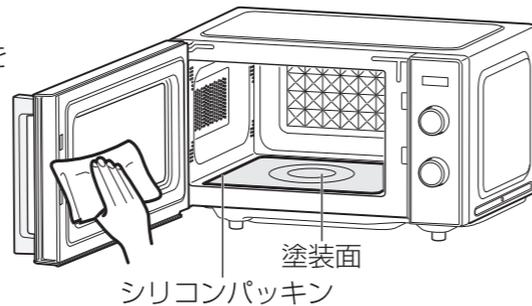
本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしないでください。

⚠ 注意

- お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、冷えてから行ってください。感電・やけど・けがをする原因となります。
- ガソリン・シンナー・ベンジン・アルカリ性洗剤・灯油・ベンゾール・アルコール・みがき粉などで拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。樹脂や塗装部分が、変色・変質する原因となります。
- 庫内に付着した調理物や油を放置したまま加熱しないでください。発煙・発火の原因となります。必ず庫内が冷えてから拭きとってください。ドアに付着した汚れは必ず拭きとってください。

本体外側

本体外側は柔らかい乾いた布などで拭いてください。汚れの落ちにくいときは水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、よく拭きとってください。



庫内

⚠ やけどに注意

かたくしぼったぬれふきんで拭いてください。汚れが落ちにくいときは

- ① 耐熱容器にお湯または水を入れて庫内に置く。
- ② 「出力 500W」で 1 分～ 2 分加熱し、庫内に水蒸気を充満させる。
- ③ 5分程そのまま放置する。
- ④ ドアを開け、熱さを確かめながらやけどに注意して、ふきんで庫内を拭きとる。

※庫内のシリコンパッキンや塗装面はこすったり衝撃を与えないでください。傷がついたり割れる原因となります。

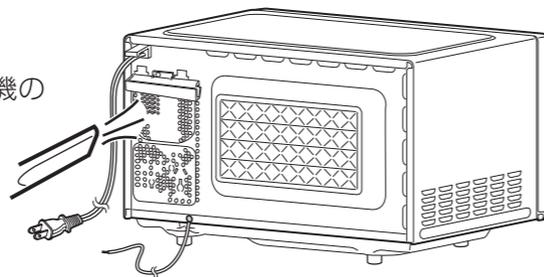
電源プラグ

柔らかい乾いた布などで拭いてください。液体は使わないでください。



吸気口・排気口

柔らかい乾いた布などで拭いてください。ホコリが吸気口などに入り込んでいるときは、掃除機のノズルなどを使ってホコリを吸いとりま。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

こんなとき

おたしかめください

電源が入らない
運転しない

- 電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか？
- 停電をしていませんか？
- ブレーカーが切れていませんか？
- 時間／解凍つまみを回し、加熱時間を設定しましたか？

食品があたたまらない

- 金属容器やアルミホイルを使っていませんか？
- 加熱をくり返した場合は、製品保護のため出力が下がる場合があります。→10分以上休ませてからご使用ください。

加熱終了後にドアを閉めたら
運転を開始した

- ドアを閉める前に時間／解凍つまみを回しましたか？
ドアが開いている状態で、時間／解凍つまみを回し加熱時間が設定されると、ドアを閉めたあと加熱運転を開始します。

加熱中カチカチと音がする

- 機械のスイッチ切り替え音です。故障ではありません。

加熱中「ブーン」と音がする

- 電気部品の動作音です。故障ではありません。

調理中火花が出る

- アルミホイルや、金属飾りのある容器や金属容器を使っていませんか？

いやなにおいや煙が出る

- 庫内や、ドア内面に調理物がついていませんか？
- 調理の設定時間が長くないですか？
- 少量の食品を加熱していませんか？

ドアに水滴がつく

- 食品から水分や、水蒸気が出ることもあり、故障ではありません。

加熱終了後に
「ブーン」と音がする

- 冷却用のファンが回っている音です。電源プラグを抜かないでください。加熱終了後(表示部「End」を表示)はファンが回っていても加熱は終了しています。

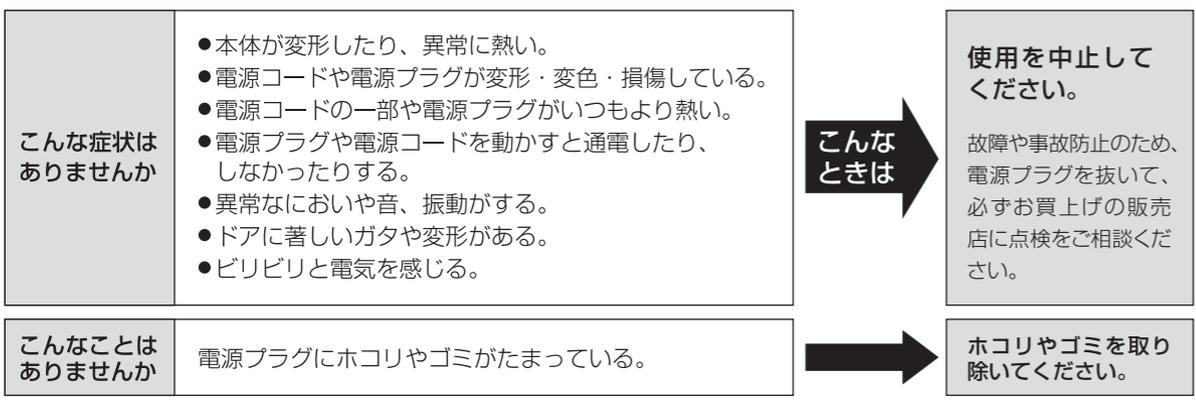
点検後、異常がある場合は、お客様ご自身で修理せずにお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。詳しくは、18ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

仕様

品番	YMW-ST17J1
定格電圧	100V 50/60Hz
定格消費電力	50Hz：950W 60Hz：1300W
定格高周波出力	50Hz：500W 60Hz：650W <small>※定格高周波出力500/650Wは短時間高出力機能(約10分間)であり、定格連続高周波出力は350Wに自動的に切り替わります。</small>
発振周波数	2450MHz
外形寸法	(約)幅458mm × 奥行き349(388*)mm × 高さ281mm <small>* ()内は、ドア取っ手を含む奥行き寸法です。</small>
庫内容量	17L
加熱室の有効寸法	(約)幅273mm × 奥行き325mm × 高さ181mm
質量(重量)	(約)11.8kg
電源コード長	(約)1.5m
タイマー	500W・650W：15分
区分名	A
電子レンジ機能の年間消費電力量	59.5kWh/年
年間消費電力量	59.5kWh/年
年間待機時消費電力量	0.0kWh/年

- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY
- 定格容量とは JIS の規定に基づいて算出された容量のことです。
- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定法による数値です。(区分名も同法に基づいています) 実際の消費電力量は、使用回数や使用時間・食品の量・温度などによって変化します。目安としてご覧ください。
- 電源プラグをコンセントにさし込み、ドアが閉まった状態で表示が消灯しているときの消費電力は「0」Wです。

長年ご使用の電子レンジの点検を！



修理サービスについて

(1) 保証書

- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのもと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買上げ日より本体1年間です。

(2) 修理を依頼される時

- 保証期間中は内部機構をさわらずに(保証期間外の場合でも内部はさわらないでください)お買上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間

この電子レンジの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後8年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合

- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

ヤマダオリジナル商品サポートセンターや保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- ヤマダオリジナル商品サポートセンターでお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。